



起工式

岩を土台として

理事長 山崎ハコネ

本日、起工式の日を迎えることができました。これから私たちは、この与えられた土地にグループホームマナの家の増床分として、新しいマナの家を、新しいコミュニティの場所を用意していきます。

当法人にとりましては、三回目の起工式となります。最初の起工式はからし種の家を建てる時、そして二回目は現在のマナの家を建てる時、そして、今日を迎えています。

ここに至るにあたり、神様は一人の身寄りがなく、住む家を失い、病をもった九一歳の野沢ナミさんという人を用いられたことを覚えます。それは、どのような事情があろうと一人の人間が神様と人とに愛されて、住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせる家が必要であること、助けを必要としたときに人の助けの手があること、その暮らしの先にある死のときも、希望をもって生きることができるとともにキリストの言葉、揺るがない人生の土台が据えられていること、そのことがどんなに大切であるか、彼女を通して、からし種の家やマナの家、自主事業のマナの家のご利用者の生きざま、看取りの場・死を通して教えていただきました。二十年の月日を経て、その考えは変わらず、むしろ具体的に地上の住み

2018年2月

- 社会福祉法人 からし種の会
事務局 〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626
E-mail: karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp
- 高齢者グループホーム からし種の家
〒950-2014
新潟市西区小針西1丁目4番22号
TEL: 025-267-6600
FAX: 025-267-6602
- グループホーム マナの家
□地域福祉事業 マナの家・みんなの家
〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626

かにして永遠の住みかと思いを馳せることのできる家づくりを目指して建築工事を始めていきます。それは同時に初めに終わりを考えることでもあるのではないのでしょうか。既存のグループホームマナの家の定員は九名から来春より定員十八名となって新たにオープンしていきます。

しかし、私たちのミッションはそれだけではありません。むしろ、チャレンジです。新たに三つの機能を強化した複合施設構想となっているからです。一つ目は、認知症の人を対象としたグループホームにおける看取り支援のあり方、体制を整えて臨むというものです。二つ目は、地域の家としての役割を担えるように、地階となる場所に「丸ごと・何でも相談所」的な相談機能を持ったスペースを設置していきます。三つ目の機能としては、「働く」という新しいビジョンを描いた場所を用意する構想になっているということ。高齢になっても、障害があってもだれもが参加できる場、共に働く協働の場が確保されていく構想になっています。

こうしたビジョンが与えられ、その使命に向かって「なかみ」を形成していくにあたり、法人のよって立つキリストの土台、岩の上に建てることの意義を再確認して仕えていきたいと思えます。それは、「主御自身が建ててくださったのでなければ家を建てる人の労苦はむなし」（詩編一二七編一）からに他なりません。また、次なる二十年を覚える時、この事業に携わってきた私自身また役員はじめ職員たちが残っているかという無責任のようですが責任

がとれないのです。それだけに、私たちのたてる全ての計画を主の御手に委ねつつ、「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった」という信仰に立って進んでいきたいと思っています。

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としているからである。」
(マタイによる福音書七章二四〜二五節)

現在に対しても将来に対しても、確固たる自信も力も財もない小さな法人ですが、神の言葉の上に、この全ての事業が神によって導かれていることを信じて、岩を土台として恐れず始めて行きたいと思えます。最後に本事業の設計管理の任にあたられます(株) 創建築設計事務所並びに施工業者の(株) 小川組の働き、その全工程が神のご加護のうちに守られ、完成に至りますように心からお祈りいたします。



2017年10月26日 竣工式の様子

みんなのクリスマス

からし種の家

クリスマス礼拝とお楽しみ会

齋藤 信恵

12月10日クリスマス礼拝とフレッシュミニント様、地域の語り部の方をお迎えし、心温まるお楽しみ会がおこなわれました。礼拝後は、「一杯のかけ蕎麦」の読み聞かせではじまりました。入居者様、地域の方々共に物語に聞き入り涙を浮かべられて心静かに聞き入っていました。

フレッシュミニント様は8周年を迎えられて大きな拍手で整列されました。そして、いつもの美しい歌声、きれいなしの笛の演奏でした。会場は「8周年記念コンサート」の飾りつけをした雰囲気の中に、笑いも交えた楽しい時間を過ごし、入居者様を含め会場が一体となりました。披露された曲は、クリスマスソングや懐かしい曲にも入居者様みんなで歌声に合わせ口ずさんで歌っておられました。からし種の家には欠かせないコンサートとなっています。ご協力くださいました地域の皆様には感謝致しますとともに神様の沢山のお守りを祈ります。



マナの家

マナの家のクリスマス

齋藤 美幸



今年度は福祉バザーの開催がなく静かに12月を迎えました。そのため、のんびりとクリスマスの雰囲気を楽しんでいたこともあり、クリスマス会の準備に取り掛かるのが遅くなり、バタバタと直前まで用意していました。

当日、雪は降らずホワイトクリスマスとはなりませんでしたが、冷え込み厳しく建物内も温めてはいたものの、会場を出ると寒かったこと思い出します。

毎年、夕食会を2階リビングで用意し皆様をお招きしています。夕食の準備は利用者の皆様にも午前中から手伝っていただきました。50人分の下ごしらえを4名の利用者様に協力をお願いしたところ、皮むきはあつという間に終わってしまい、一口大の大きさに切りそろえるまでに1時間かかりませんでした。会話をしながらでしたが、包丁さばきは健在で素晴らしかったです。また、前日には飾り作りもお願ひし折り紙で輪っかを繋げ、束ねたお花紙を広げる創作活動に集中されていました。「賑やかなるね」と笑顔で話されていた表情が印象的です。

長く入居されている方も多く、認知機能や運動能力の違いはありますが、行事に参加し一緒に笑い楽しむことは大切です。そのためには地域の皆様の協力が欠かせませんが、ボランティアでマナの家に関わってくださる団体の皆様、個人で関わってくださる皆様の温かい気持ちでクリスマス会が返しが出来たら幸いです。



12月25日 地域の皆様と一緒にいったクリスマス会

たまり場のクリスマス

クリスマス食堂

昨年十二月二十三日(土)にみんなの食堂のクリスマス版ということで「クリスマス食堂」を行いました。普段は朝食もあるのですが、この日は昼食時間を長くして、朝食はお休みさせていただきました。朝からご利用者にも手伝って頂きながら大量の芋の皮むきをしながら、悪天候で来てくださる方は少ないのではと心配しておりました。

今回は、手羽元の唐揚げ、ピラフ、サラダ、スープ、里芋煮とクリスマスらしいメニューを用意し、運営スタッフの一人のママが作ってくれました。お揃いの赤いエプロンを付け、準備を整えておりました。開店からたくさんの方々が来られて下さり、あつという間に席が埋まりました。食事がひと段落すると佐藤静子先生によるタンバリン演奏に合わせ、賛美歌を歌ったり、ケーキセットでゆつくりお茶をされる方とクリスマスらしい雰囲気を楽しんでいただくことができました。

クリスマス食堂の様子



たまり場では毎年恒例となっているリース作り！親子の力作です→



からし種の家

秋の外出

小池 弘子

10月3日は、皆様が心待ちにされていた外出。あいにくの雨天ではありましたが、朝から持ち物や着る物をチェックし賑やかに準備が進みました。さあ出発。皆様の動きも軽やかに足早に移動です。例年白根グレイプガーデンの後に食事でしたが、今年はおアグリパークでの昼食を先、としました。店内は田舎風の落ち着いた雰囲気。テーブルにセットされた料理に「ワー」「美味しそう」の声。彩り良く盛り込まれた大皿。汁とご飯は、おかわり自由で、おかわりされた方もおられ、皆様とつても良い表情で満足された様子。次に向かうのはグレイプガーデン。予約席に座り、色とりどりの大小さまざまなお店のデザートを笑顔でほうばり「甘い！」。記念の一枚を撮って帰りの車へ。車内では「楽しかったね」「また来たね」とお話が止まりません。本当に今年も無事に入居者様と一緒に楽しい一日を過ごさせて頂いた事を、心から喜び感謝致します。



グレイプガーデンで集合写真



アグリパークでの昼食

4月オープン GHマナの家（増床）

ご家族と一緒に介護・看取り支援へ

グループホームマナの家が4月より定員18名になる予定で新築工事が進んでいます。増床するにあたり、認知症の人の看取り支援体制を少しでも強化できればと願っています。

グループホームにおける看取りの現状と当グループホームの考えを理解された上でお考え頂ければと思います。

① 口から最期まで食べる

「最期に母の好きな餅を食べさせたいと思って東京から持って来ました」と言って元旦にご家族の介助でお雑煮を召し上がった故Tさん（95歳）がおられました。

口から食べることを通して、懐かしい味を思い出し、その味とつながる出来事や触れあいや感謝と生きる意味や人生・生活の質につながります。最期まで残されている本人の食べる機能への支援を大切にします。

② 家族等と一緒に介護・看取り

本人・家族の意思を尊重し、その状況の中で何が最善かを一緒に話し合います。その上で担当者会議をくり返し重ねながら、本人・家族の望む、医療・介護・福祉の地域資源を総合的に活用して意思決定・看取りに寄り添います。

家族一緒に協働体制の中での看取りです。

③ グループホームにおける看取り

介護保険制度の改正に伴い医療連携体制加算、看取り加算を積極的に整備してきました。

しかし、グループホームという地域密着型のサービスを利用（1日24時間）しているという制度枠があるということ。例えば、医療ニーズが高く往診対応では困難な場合は、病院、他施設に移ることもありうることを理解の上グループホームの場をご利用ください。

④ 自然死を望んでいること

不思議とグループホーム内での看取りが可能となってきた場合は、次のことが共通しています。第1は、本人とご家族がホームの看取りを希望してということ、第2は、延命によらない自然死を望んでいること、そして第3は、口から食べられるということの3点が揃っていました。

訪問看護の利用制限の撤廃等の国の法整備が進むことを期待しつつ、できることから4月より看護師を増員し看取り環境を強化していきます。少しでも認知症の人の最期を混乱なく、看取りまでを望む本人・家族の思いにグループホームのスタッフ、地域医療連携を含むチームケアで「重度化対応や看取りケア」に応えて実践していきたいと思えます。



新規事業開設のため職員募集

住み慣れた地域で
だれもがその人らしく生き生きと

からし種の会 マナの家

住む
グループホーム

通う
共用型
デイサービス

さいごまで
マナの家

集う
たまり場



天の国はからし種に似ている。(マタイ 13:31-32)

2018年4月「グループホームマナの家」増設(2ユニット)オープン予定

○グループホームに入居されている方々の暮らしを支えてくださる

介護職員を募集しています。

【募集職種】 介護職員 / 夜勤スタッフ ※二人夜勤の補助

【勤務地】 グループホーム マナの家 (新潟市西区西有明町2番5号)

※法人の他事業所(新潟市西区)勤務の可能性あり

○入居申し込みも受付中です!

※申込書は下記ホームページよりダウンロード
できます。

施設見学可能です!(事前連絡必要)

ホームページはこちらから検索してください

新潟 からし種の会

検索

<http://www.karashi-mana.org/>



(イメージ図)

社会福祉法人 からし種の会

〒950-2071
新潟県新潟市西区西有明町2番5号
TEL. 025-201-7688

ボランティア募集

☆ボランティアできる方、
お待ちしております!

○たまり場○

食事作りのお手伝い
抱っこや子供たちの遊び相手

○みんなの食堂○

ワンディシェフ(料理)

献金・ご寄附のお願い

ホームホスピスマナの家、たまり場、
みんなの食堂は自主事業で行っておりま
すので、運営は皆様からの献金・ご寄附
に支えられています。

ご支援をよろしくお願いいたします。

後援会の口座

郵便振替口座 振込取扱票で入金の場合

口座番号: 00540-7-59997

加入者名: 社会福祉法人

からし種の会後援会

※所得税控除の為に
法人へのご寄附を希
望される方はお申し
出下さい。



公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団
様より施設助成金を受け「日産キューブ」
車イス移動者を購入いたしました。
納車日 2017年2月27日

いつもお支えを
ありがとうございます。

後援会個人献金等

(賛助会費、維持会費、自由献金、マナの家増築献金等)
2017年6月25日～12月分

氏名	金額
聖ヶ丘教会青年会	20,000
貝塚 夕紀代	10,000
土田 成子	30,000
小林 和江	20,000
安藤 謙三、紀子	3,000
加野 久子	3,000
福島 三郎	5,000
㈱ネイグル新潟	20,000
星野 りえ子	40,000
小柳 直江	10,000
黒崎 浩	5,000
山岡 清二	5,000
阿部 明子	3,000
並木 浩一	55,000
久保 和子	5,000
橋本 末子	3,000
横山 豊治	3,000
遠藤 真一	10,000
長谷川 聖二	10,000
篠崎 薫	5,000
北尾 隆昭	10,000
市村 秀子	3,000
小島 京子	5,000
新丸子教会婦人会	3,000
稲毛 秀実	10,000
山崎 ハコネ	175,000
大西 英子	10,000
古川 久子	3,000
新潟地球村教会	20,000
富井 康年	13,000
中西 康之	10,000
高橋 和彦、華枝	3,000
青木 範雄	56,000
北垣 宗治	5,000
藤森 恵美子	5,000
加藤 楽子	5,000
松崎 博司	5,000
山田 耕太	5,000
中西 恭子	10,000
貴田 陽一	10,000
山田 昌人、光子	15,000
神保 みゆき	5,000
竹内 晃	5,000
匿名	5,000
富岡 元子	10,000
亀峯 美智子	10,000
馬場 優子	30,000
三富 千恵子	3,000
高見 優	10,000
幸田 良子	100,000
一柳 茂樹、民恵	20,000
山田 (ボランティアさん)	2,000
合計	846,000

(法人寄附) 2017年6月17日～12月分

氏名	金額
松井 朝子	50,000
山田 昌人、光子	15,000
幸田 良子	100,000
小池 由佳	15,000
関本 道章	20,000
富山 雪江	530,000
星野 りえ子	20,000
合計	750,000

編集後記

第二九号はいかががだったでしょうか。恒
例のクリスマス礼拝を中心の内容となりました。
地域の方々の協力があるからこそ、こ
うした行事を行うことができると実感し
ます。
また、一月には新潟市内でも大雪が降り
ました。その時には地域の皆様を除雪を手
伝って頂きました。地域の皆様、日頃から
本当にありがとうございます。
最後に原稿をお寄せ頂いた方を含め、機
関誌発行に協力して下さいました皆様、本当
にありがとうございます。(秋田 竜佳)